

研究協力をお願い

市立大町総合病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は病院事務部総務課にご連絡下さい。

整形外科術後患者における膀胱留置カテーテル抜去遅延要因の検討 -認知機能に着目して-

関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年11月1日～2026年5月1日に、当院で大腿骨頸部骨折による骨頭置換術を受けた患者

2. 研究目的・方法

大腿骨頸部骨折術後患者は、早期離床・早期リハビリが患者の機能予後を左右する。また、膀胱留置カテーテルの早期抜去も推奨されているが、当院は高齢者、さらに認知機能低下を認める患者も多く、離床・膀胱留置カテーテル抜去が遅延している印象がある。

本研究では、当院で骨頭置換術を受けた患者について、認知機能低下の有無によってカテーテル抜去までの期間に差があるのかを明らかにする。認知機能低下患者と膀胱留置カテーテル抜去遅延との関連が明らかになれば、疼痛コントロールの在り方や術後の介入方法の見直しに寄与することが期待される。

研究期間

2021年11月1日～2026年5月1日の対象患者のカルテ情報を用いた後ろ向き観察研究

3. 研究に用いる試料・情報の種類

対象患者の電子カルテ情報より

- ・ 認知機能（せん妄スクリーニング）
- ・ 膀胱留置カテーテル抜去日（留置期間）
- ・ 離床状況
- ・ 利き足
- ・ 疼痛の有無、程度（NRS）
- ・ ADL

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：市立大町総合病院 事務部総務課

研究責任者：

所属： 市立大町総合病院 看護部 氏名：西村円花

所属： 市立大町総合病院 看護部 氏名：原山奈々

市立大町総合病院 総務課

TEL 0261-22-0415（代表）